

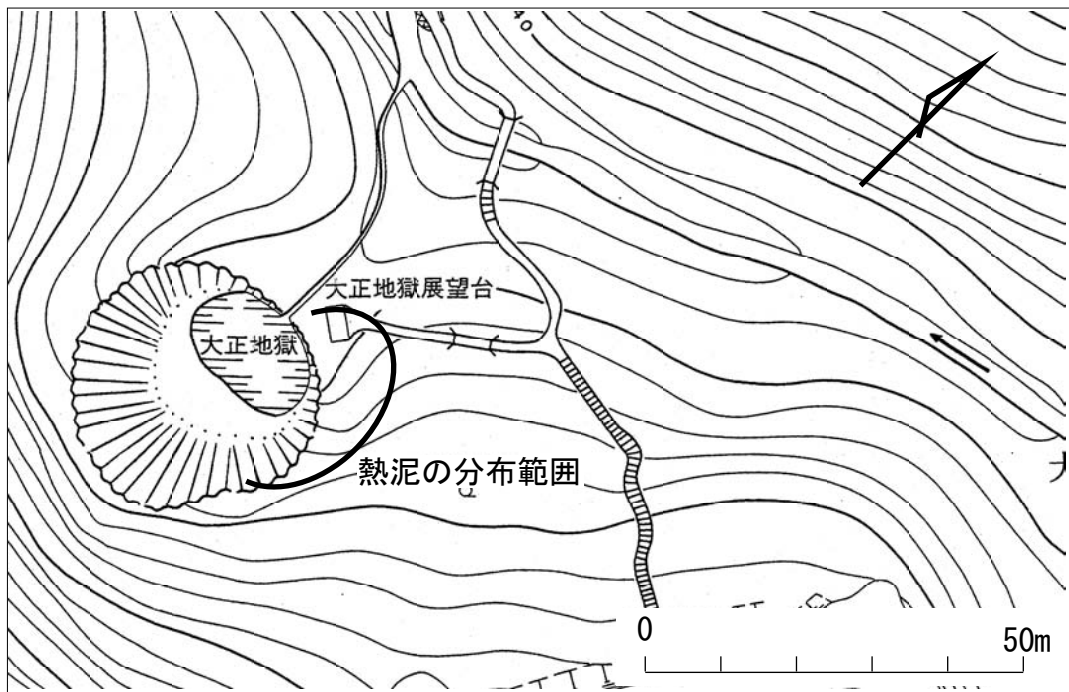
倶多楽火山

○2日5日の熱泥水噴騰活動で放出された噴出物

2月5日02時34分ころから始まった噴騰活動は、2007年9月末以来となる9日間の休止期のあとに起こり、大正地獄の北東側の雪上に土砂を堆積させた。



写真1. 雪上に放出された熱泥の状況 (2009年2月5日09時22分, 我孫子撮影). (1)大正地獄東崖の分布する熱泥 (展望台から). (2)大正地獄の北東方向に分布する熱泥 (展望台から). (3), (4)展望台の東端および大正地獄側, 積雪が融解あるいは熱泥水により失われている.



(我孫子・大島)

図1. 噴出物の分布範囲

倶多楽火山